

第3学年 音楽科学習指導案

日時 10月16日(木) 5校時
学級 第3学年2組 29名
指導者 高石 美佳

研究主題

「豊かな心と健やかな体の育成」
～自分やみんなを大切にする児童を目指して～

1 題材名 旋律の特徴を感じとろう

2 題材のねらい 旋律の感じを生かして音をつくったり演奏したりする。

3 題材について

(1) 題材設定の理由

本学級の児童は音楽好きな子どもが多く、意欲的にのびのびと表現したり、じっくり聴いたり、自分の意見をはっきりと発言したりできる児童が多い。

本題材では旋律の感じからその曲のイメージを共有し、さらにそのイメージに合う簡単なオステイナー^(※1)のパターンを考え間奏の旋律に合わせて演奏する、という活動を考えている。

この活動をする上で参考となるこれまでの主な音楽経験は、①低学年からの簡単なリズムづくりの活動、②3年生1学期「海風きって」での木琴を使った学習、③同学習での小集団活動の3つである。しかし音楽学習においての小集団活動はまだ経験が浅く、今は活動を通して上手な関わり合い方を学んでいる段階である。今後は小集団活動を通して、自分やみんなの思いを尊重しながら学び合ったり、教え合ったり、高め合ったりできるように育ててほしいと願っている。

そこで本学習では、一人一人の表現を小集団で共有し認め合うことで、さらに音楽的にも価値のある表現を学ばせたいと考えた。またそれが研究主題の「豊かな心」を育てることにもつながると考え、本題材を設定した。

(2) 学習指導要領との関連

【A表現：(1)歌唱】

イ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。

【A表現：(2)器楽】

ウ 音色に気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏すること。

【A表現：(3)音楽づくり】

イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくること。

【共通事項】

ア (7)音色、リズム 旋律 拍の流れやフレーズ

(1)反復 問いと答え 変化

イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。

4 教材について

「かさじぞう」 あだち やえ 作詞 / 横山 潤子 作曲 (イ短調 4分の2拍子)

「かさじぞう」の物語モチーフにつくられた物語の音楽。五音音階でつくられた日本風の旋律により、旋律の特徴や曲のイメージがつかみやすい。また五音音階を使うことで、簡単に即興的な音楽づくりの活動にむいている。

5 研究主題との関連

(1) 音楽科で目指す児童像

【心】 音楽表現の楽しさや友達と協力する楽しさを感じながら進んで音楽に関わる子

(2) 研究主題（児童像）に迫るための手立て

共有の場の設定（本時の視点）

- 学習形態を小集団（3人）とし、一人一人の思いや意見が生かされるようにした。
- 小集団にすることで、音楽が苦手な児童も自然に活動に参加できる配慮をした。
- 学習カードには活動の進捗、班または個人の課題や感想などを集約し、各自各班が効果的に活用できるようにした。

学習過程の工夫

- 音楽づくりのための教材を開発した。
 - ・創作作業を楽しみながら簡単にできるように、付箋紙とクリアファイルで工夫した教具を使わせる（何度も繰り返し使えるように）
- 小集団活動を効果的に設定した。
 - ・木琴の正しい奏法を習得するために小集団で学び合う
 - ・オスティナートづくりや間奏部分とのアンサンブル演奏時に協力し合う
- 既習事項が活動に生かされるようにした。
 - ・木琴の奏法について復習すると共に、新しい奏法を学習し習得する
 - ・オスティナートのパターンづくりに、既習のリズムを応用する
 - ・経験をもとに充実した小集団活動の在り方を考える

評価の工夫

- 評価の方法
 - 〈学習カード〉
 - ・個人用カード…個人の進捗、振り返りや次時の課題などを見取る
 - ・音楽づくり用のワークシート
 - 〈一人一人の活動観察〉
 - ・小集団での個々の活動の様子や友達との関わり方、発言内容などを見取る
- 評価の内容
 - ・奏法や音色に気を付けて演奏している
 - ・反復や問いと答えなど、音楽の仕組みを使ってつくっている
 - ・思いや考えが盛り込まれている

6 題材の評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ鑑賞の能力
題材の評価規準	①「かさじぞう」の物語に関心をもち、歌詞や旋律の感じから曲のイメージをつかんで、進んで演奏しようとしている。 ②自分や友達の課題に気付き、小集団で教え合いながら活動しようとしている。	①五音音階を使って、旋律の感じに合うオスティナートをつくらうとしている。	①木琴の基本的な奏法や音色に気を付けて、間奏の旋律を演奏している。 ②つくったオスティナートと間奏の旋律を合わせて、曲の感じに合うように演奏することができる。	①互いの表現のよさや違いに気付き、感じたことを言葉で伝えることができる。

7 本時の評価の進め方と期待される子どもの姿

〈本時の評価規準〉

- 自分や友達の課題に気付き、小集団で教え合いながら活動しようとしている。 【アー②】
- 木琴の基本的な奏法や音色に気を付けて、間奏の旋律を演奏している。 【ウー①】

〈期待される子どもの姿〉

- ・小集団で互いの課題を意識しながら、より良い表現を目指し活動に取り組んでいる。
- ・既習事項を生かし、基本的な奏法に気を付けて木琴の演奏をしている。

〈Aと判断される子どもの状況〉

- ・互いの課題を理解し、より良い表現になるためのポイントを正しく伝えることができる。
- ・小集団の中心となって活動している。
- ・木琴の基本的奏法が十分に習得され、間奏の旋律を正しく美しい音色で演奏している。

〈Cと判断される子どもの状況と支援〉

- ・自分の思いや考えをうまく伝えられず、活動に積極的に関わることができない。
→小集団の話し合いが進まない班には、話し合いの進め方などを助言する。
- ・技能面の習得が不十分で正しく演奏できない。
→苦手な子には練習時間を多少長めに取り、丁寧に教えるよう声かけをする。

8 題材の指導計画と評価計画（4時間扱い） 本時 2 / 4

時	学習内容 ・ 学習活動	共通事項	○教師の働きかけ ●題材の評価規準 〈評価方法〉
〈第一次のねらい〉 「かさじぞう」の物語や曲に関心をもって、進んで歌ったり練習したりする。			
1	<p>1 「かさじぞう」のイメージをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かさじぞう」の物語を知る。 <p>2 「かさじぞう」の旋律の特徴をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の情景を想像して歌う。 <p style="text-align: center;">音色、速度、強弱 拍の流れやフレーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間奏の旋律を階名で歌う。 <p style="text-align: center;">反復、変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間奏の旋律を木琴練習用シートで個々に練習する。 <p>3 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを生かして歌と間奏の旋律を通して演奏する。 <p style="text-align: center;">音色、速度、強弱 拍の流れやフレーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをして、次時の課題を把握する。 		<ul style="list-style-type: none"> ○「かさじぞう」の物語を読み聞かせる。 ○写真や映像を用意し、イメージをつかみやすいようにする。 ○旋律の感じを生かしてやわらかい声で歌うよう、発声の仕方や口の開け方などを意識できるように助言する。 ○木琴練習用シート（個人用）を用意する。 ○間奏の部分は、木琴練習用シートをたたきながら階名で歌えるようにする。 ○木琴練習用シートをたたきながらの階名唱をすることが難しい様子の児童には、たたくことだけをさせる。 ●「かさじぞう」の物語に関心をもち、歌詞や旋律の感じから曲のイメージをつかんで、進んで演奏しようとしている。【アー①】 〈演奏聴取、行動観察〉 ○次時の学習についてふれておく。
〈第二次のねらい〉 自分の課題に気づき、美しい音色を目指して友達と教え合いながら演奏している。			
2 (本時)	<p>1 「かさじぞう」の間奏の旋律を小集団で練習する。</p> <p>《1回目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習や既習事項を参考にして、交代で木琴を練習する。 <p style="text-align: center;">音色、リズム 拍の流れやフレーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木琴奏法に関して、友達の課題と思われる点を伝え合う。 		<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項である「木琴奏法のポイント」をはじめに確認する。 ○3人の小集団で活動することをおさえる。 ○自分や友達の奏法上の課題を見付けるために、互いの練習をしっかりと見合うように声かけをする。 ○具体的に分かりやすく伝えるよう助言する。

《2回目》

- それぞれの課題に沿ってさらに木琴の練習をする。

音色、リズム
拍の流れやフレーズ

- 学習カードをもとに自分の練習の成果を確認し、互いのカードにコメントを書き合う。

2 学習のまとめをする。

- 友達からのコメントを発表する。

- 学習したことを生かして、伴奏に合わせて演奏する。

音色、リズム
拍の流れやフレーズ

- 本時の振り返りをして、次時の課題を把握する。

- 奏法や演奏内容の課題を確認しながら練習できるよう学習カードを使う。

- 頑張った点やさらに良くなるためのアドバイスを中心に書くように指示する。

- 自分や友達の課題に気付き、小集団で教え合いながら活動しようとしている。【アー②】
〈演奏聴取、行動観察〉

- 木琴の基本的な奏法に気を付けて、美しい音色で間奏の旋律を演奏している。【ウー①】
〈演奏聴取、行動観察、学習カード〉

- コメントの発表内容と合わせて、次回の活動の参考となるように、課題解決に向けて上手に活動できていたグループを紹介する。

- 歌の間に木琴の間奏を入れて、交代で全員が演奏できるようにする。

- 次時の学習についてふれておく。

〈第三次のねらい〉 間奏部分に合うように、五音音階を使ってオスティナートをつくったり演奏したりする。

3 1 旋律づくりの活動について見通しをもつ。

- 五音音階（ドレミソラ）とオスティナートについて知る。

- オスティナートづくりの方法と活動の流れを知る。

- 五音音階とオスティナートについて説明する

《五音音階》
日本音階の一つで、主音ドから四つ目のファと七つ目のシがない音階のこと

《オスティナート》
音楽的なパターン(リズム、音程、和声)を続けて何度も繰り返すこと

- 2 時間分の活動の概要（活動の内容と活動にかかる時間）を説明し、児童が活動全体の見通しをもてるようにする。

《1 時間目》

- ①五音音階を使ってオスティナートのパターンをつくる

個人
↓

- ②つくったパターンと間奏の旋律を合わせて演奏する

小集団
↓

- ③助言し合いながら、修正したり、新しいパターンをつくったりする

個人
小集団
↓

《2 時間目》

- ④発表し合い鑑賞する

↓
全員

2 オスティナートのパターンをつくる。

- それぞれが即興的にオスティナートのパターンをつくる。

反復、変化

音色、旋律、リズム
拍の流れやフレーズ

- できたオスティナートを間奏の旋律と合わせて演奏し聴き合い、さらに曲の感じに合うパターンを考える。

音色、旋律、リズム
拍の流れやフレーズ

3 学習のまとめをする。

- 本時の振り返りをして、次時の課題を把握する。

- 小集団は前時と同じメンバーとする。
- 学習カードは「簡単なパターン用」「少し難しいパターン用」の二種類を用意し、児童の進度に合わせて何パターンかつくれるようにする。
- 創作作業を楽しみながら簡単にできるように、付箋紙とクリアファイルで工夫した教具を使わせる。

- パターンづくりと合わせて、前時まで学習した曲のイメージや木琴の奏法にも気を付けるよう助言する。

- 五音音階を使って、旋律の感じに合うオスティナートをつくらうとしている。【イー①】
〈演奏聴取、行動観察、学習カード〉

- 次時の発表についてふれておく。

4 1 発表の準備をする。

- 前時につくったオスティナートの中から発表したい一つを選び練習する。

音色、旋律、リズム
拍の流れやフレーズ

- 小集団で発表の手順を確認する。

2 表現することを楽しみながら互いのよさを聴き合う。

- つくったオスティナートを発表し、互いに聴き合い、感想を伝え合う。

- 発表の練習にあたり、前時の学習を思い出すよう声かけをする。

- 様子を見ながら必要な助言をする。

- 鑑賞のポイント
①曲の感じに合う表現を工夫しているか
②正しい奏法で、木琴を演奏しているか
③楽しんで表現しているか

- つくったオスティナートと間奏の旋律を、曲の感じに合うように演奏することができる。【ウー②】
〈演奏聴取、行動観察、発言内容〉

- 互いの表現のよさや違いに気付き、感じたことを言葉で伝えることができる。【エー①】
〈鑑賞態度、発言内容、振り返りカード〉

3 学習のまとめをする。

- 題材を通しての振り返りをする。

9 本時の学習 (2 / 4 時間)

(1) ねらい 自分の課題に気付き、美しい音色を目指して友達と教え合いながら演奏する。

(2) 展開

過程	学習内容 ・ 学習活動 [共通事項]	○教師の働きかけ ●題材の評価規準 (評価方法)
つかむ	<p>1 学習の見通しをもつ。 ・「かさじぞう」の情景を想像しながら、旋律の感じを生かして歌う。</p>	<p>○やわらかい声で歌うよう、発声の仕方や口の開け方などを意識できるように助言する。</p>
<p>間奏のメロディーをえんそうしよう</p>		
深める	<p>2 「かさじぞう」を間奏の旋律を小集団で練習する。</p> <p>《1回目》 ・前時の学習や既習事項を参考にして交代で木琴の練習をする。 [音色、リズム、拍の流れやフレーズ]</p> <p>・木琴の奏法に関して、友達の課題と思われる点を伝え合う。</p> <p>《2回目》 ・それぞれの課題に沿ってさらに木琴の練習をする。 [音色、リズム、拍の流れやフレーズ]</p> <p>・学習カードをもとに自分の練習の成果を確認し、互いのカードにコメントを書き合う。</p>	<p>○既習事項である「木琴奏法のポイント」を、はじめに全員で確認する。 ○活動のしやすさから、3人の小集団で活動させる。 ○自分や友達の奏法上の課題を見付けるために、互いの練習をしっかりと見合うように声かけをする。</p> <p>○具体的にわかりやすく伝えるよう助言する。</p> <p>○奏法や演奏内容の課題を確認しながら練習できるよう学習カードを使う。 ○友達のカードには、頑張った点やさらに良くなるためのアドバイスを中心に書くよう助言する。</p> <p>●自分や友達の課題に気付き、小集団で教え合いながら活動しようとしている。【ア-②】 〈演奏聴取、行動観察〉</p> <p>●木琴の基本的な奏法に気を付けて、美しい音色で間奏の旋律を演奏している。【ウ-①】 〈演奏聴取、行動観察、学習カード〉</p>
共有する	<p>3 学習のまとめをする。 ・友達からのコメントを発表する。</p> <p>・学習したことを生かして、伴奏に合わせて演奏する。 [音色、リズム、拍の流れやフレーズ]</p> <p>・本時の振り返りをして、次時の課題を把握する。</p>	<p>○コメントの発表内容と合わせて、次回の活動の参考となるように、課題解決に向けて上手に活動できていたグループを紹介する。</p> <p>○歌の間に木琴の間奏を入れて、交代で全員が演奏できるようにする。</p> <p>○次時の活動についてふれておく。</p>